
吹田市下水道事業会計

決算の概要

平成30年度（2018年度）

概況

(1) 下水道使用料に直結する有収水量については、前年度比26万6,740m³ (0.6%) 減の4,308万8,190m³となりました。

(2) 経営状況については、12億4,515万2,472円 (税抜) の純利益を計上しました。

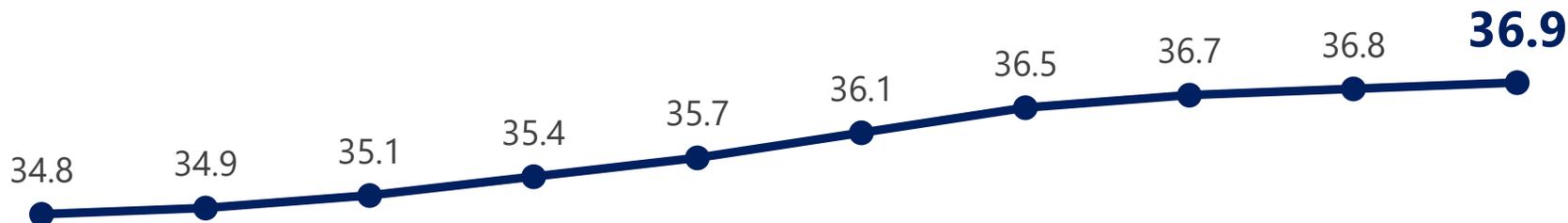
(3) 下水道施設の設備投資については、下記のとおり執行しました。

(税込)

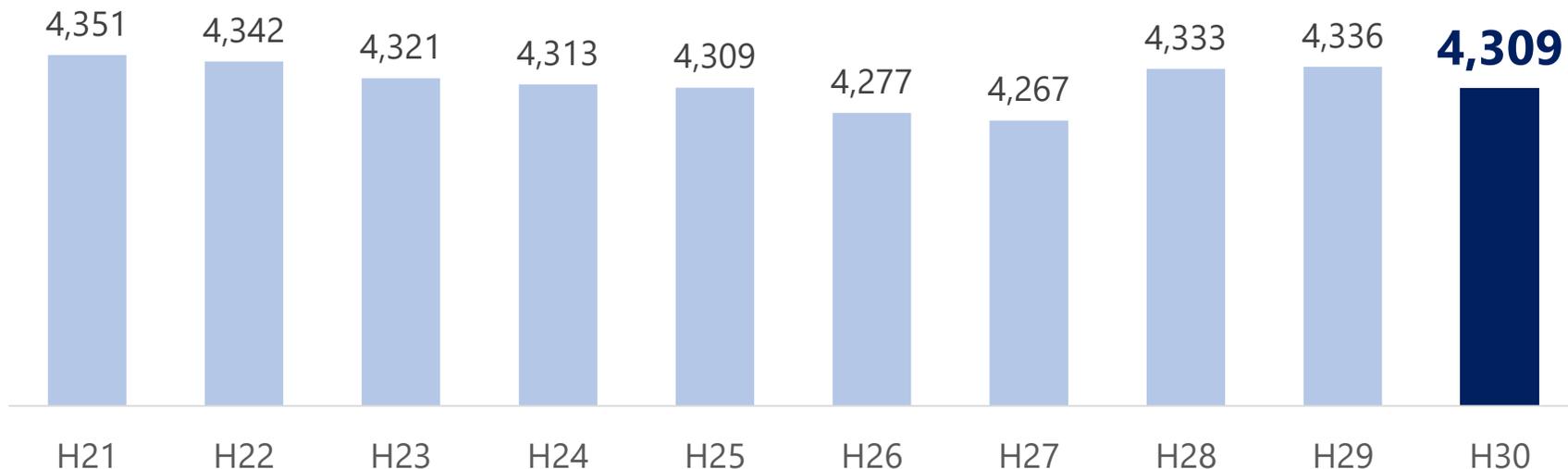
ア	管渠建設改良費	28億7,449万1,057円
イ	ポンプ場建設改良費	1億9,967万4,220円
ウ	処理場建設改良費	2億9,868万4,155円
エ	流域下水道建設費負担金	5,664万3,120円

有収水量と水洗化人口の推移

水洗化人口（万人）



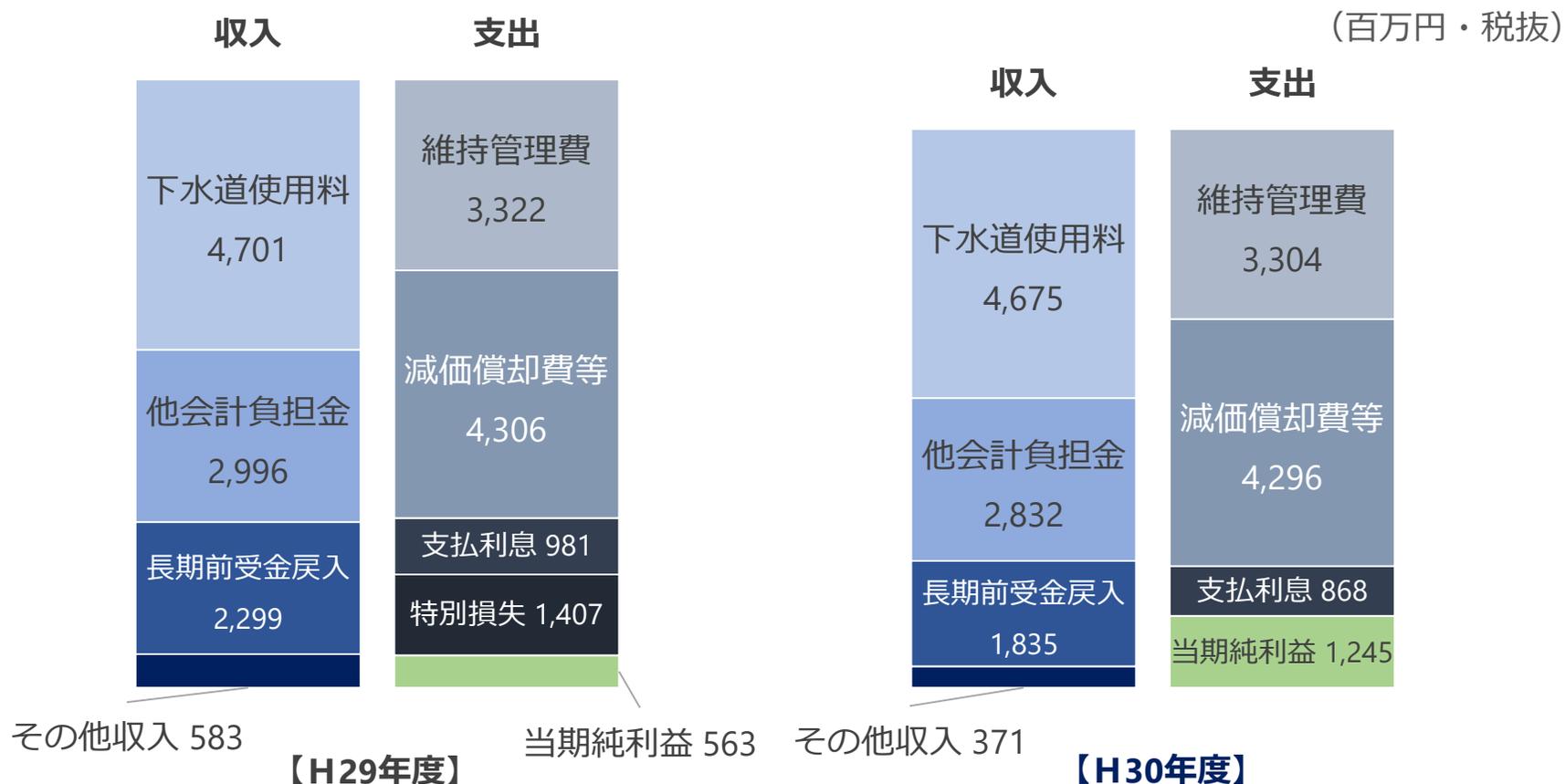
有収水量（万 m^3 ）



水洗化人口は増加傾向ですが、下水道使用料に直結する有収水量は節水意識の向上や節水機器の普及などにより減少傾向となっています。

収益的収支 (損益計算書)

下水道サービスの提供に関する収支状況
(経営成績)

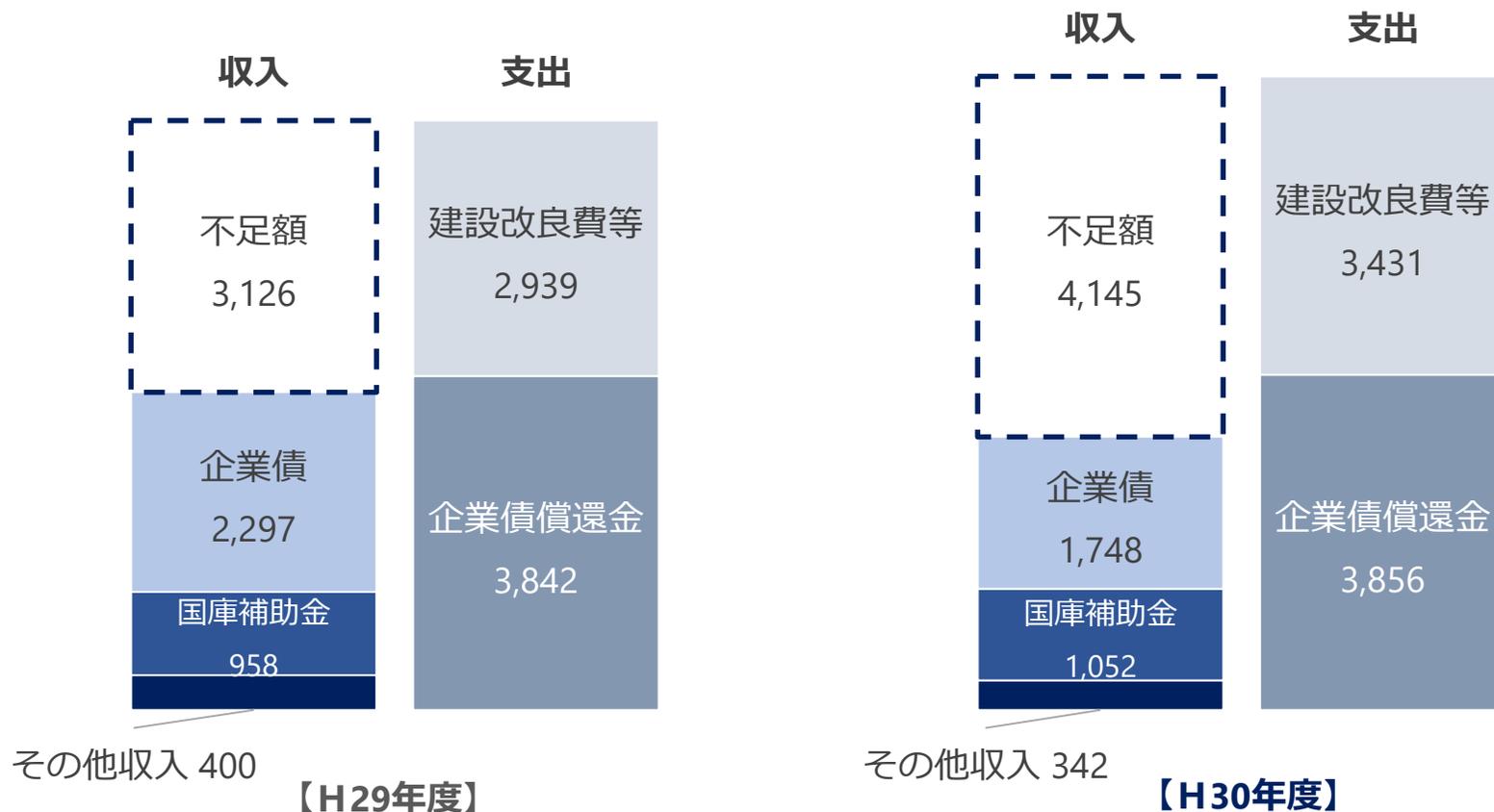


- (1) 収入 : 97億1,293万6,339円 前年度比 8億6,584万6,629円 (8.2%) 減
(2) 支出 : 84億6,778万3,867円 同 15億4,815万7,054円 (15.5%) 減
(3) 純利益 : 12億4,515万2,472円

資本的収支

下水道施設の設備投資に関する収支状況

(百万円・税込)



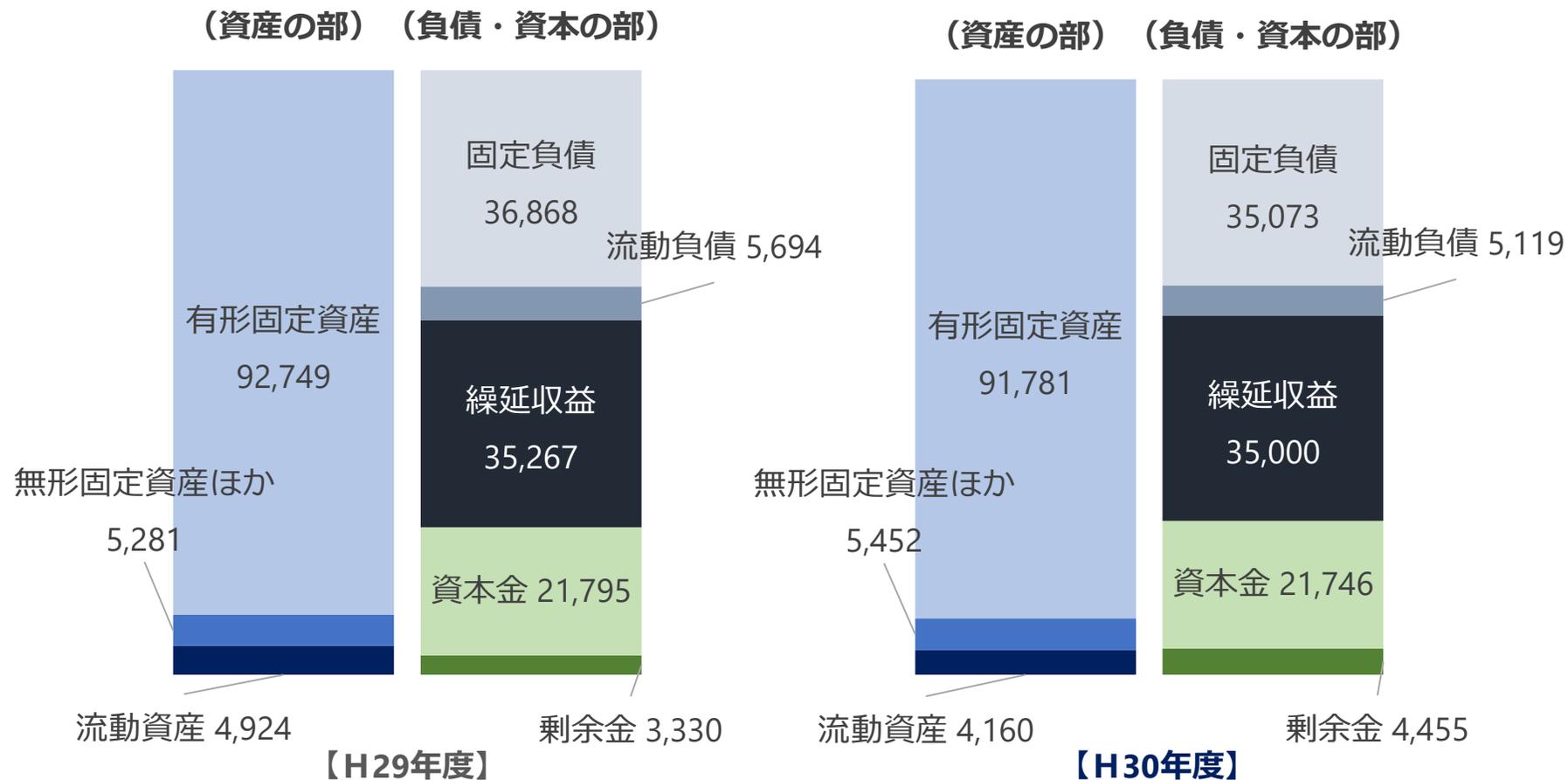
- (1) 収入 : 31億4,226万 276円
- (2) 支出 : 72億8,758万8,852円
- (3) 不足額 : 41億4,532万8,576円

※損益勘定留保資金などにより補てん

貸借対照表

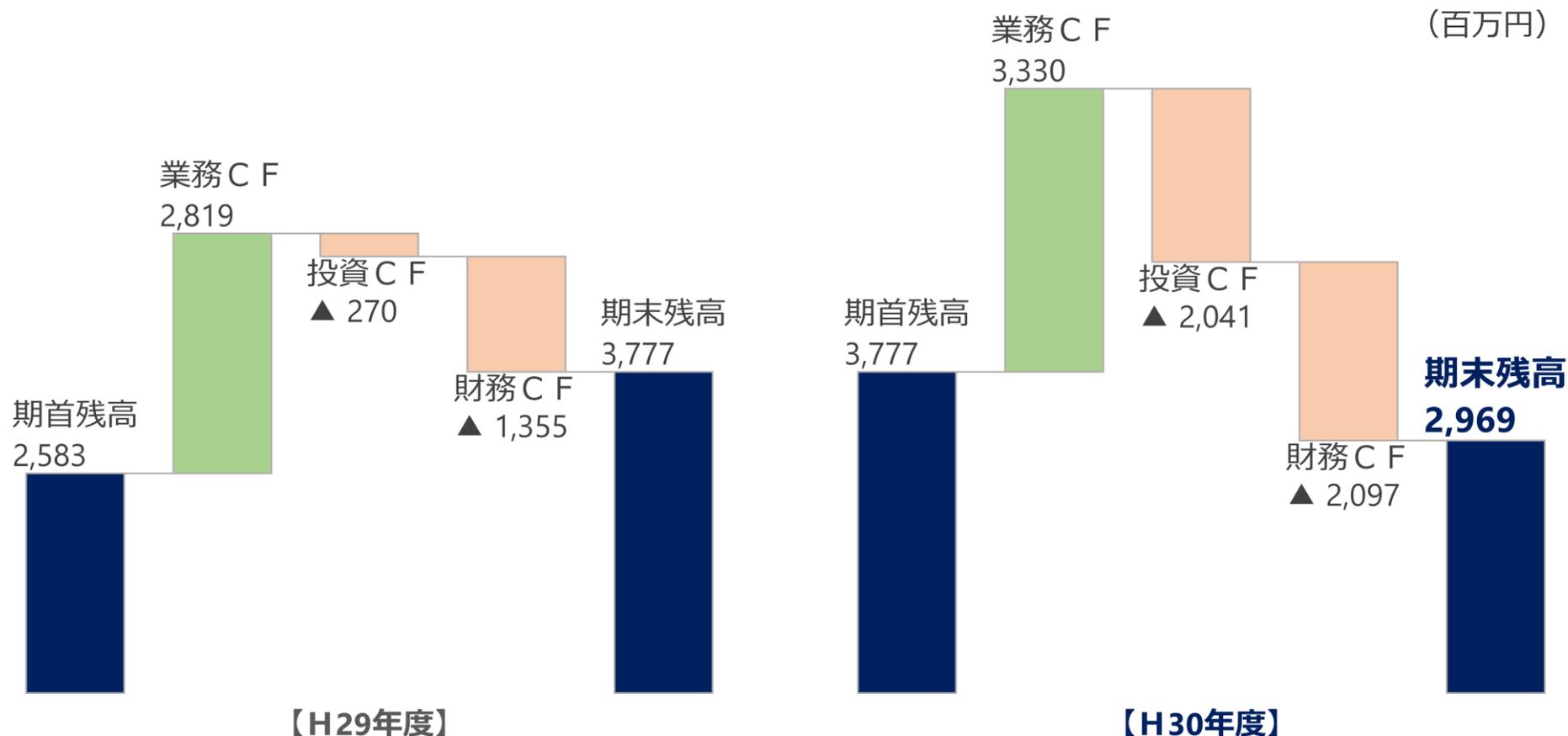
期末時点の保有財産の状態（資金の調達状況、運用状況）

(百万円)



キャッシュ・フロー計算書

現金の流れ



- (1) 業務C F : 本業 (下水道の維持管理) の活動による現金の増減
- (2) 投資C F : 投資 (下水道施設の新設や改築など) による現金の増減
- (3) 財務C F : 資金調達 (企業債の発行) と返済による現金の増減

企業債残高

設備投資の財源として借り入れた借金残高

